

番号	4
----	---

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年
教科等名		国語		グループ名	2グループ
ねらい		・日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を高める。 ・自分の気持ちや状況を言葉やサインで表現する力を伸ばす。 ・考えや気持ちを伝え合ったり、共有したりする態度を養う。			
担当教員		○上江渕 充 村田 昭子(水) 岸 みどり(金)			
予定授業時数		70			
使用教科書		改訂新版 くらしに役立つ国語			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	・挨拶、返事 ・日付の確認 ・個別課題 ・平仮名、片仮名の読み書き		・授業開始の挨拶 ・呼名に対しての返事 ・日付の確認 ・運筆、平仮名、片仮名、漢字の書き取り	・語先後礼で挨拶ができる。 ・話し手に体を向け聞くことができる。 ・課題を終えるまで継続して取り組むことができる。	・初めは、答え方の例を示す。 ・生徒の実態に合ったワークシートを使用する。
4 ― 7	・オリエンテーション ・自己紹介をしよう ・あいさつと会話 ・文字と物のマッチング	○	・授業のルール ・自己紹介 ・身近な物の説明 ・平仮名、片仮名の読み書き	・授業のルールを守って学習できる。まとめたことを発表できる。発表を聞いて、質問できる。 ・イラストや写真にある物の名称を言える。物の特徴を捉え、名称とマッチングすることができる。 ・正しい文字を知り、書くことができる。発音に気を付けて音読することができる。	・ルールは、掲示して視覚的に示す。 ・机の配置などに配慮して、集中しやすい環境を設定する。 ・イラストや写真、具体物など視覚的かつ具体的な教材を活用する。
9 ― 12	・日常的に使用する形容詞理解 ・反対言葉 ・推薦本の紹介 ・学習発表会関連学習 ・手紙を書こう	○	・性質を表す言葉 ・対照的な物事 ・推薦本の紹介 ・発表の練習 ・手紙	・どのような物か言葉で伝えることができる。言葉を聞いて、具体物やイラストから選択することができる。 ・自分の気持ちを単語にし、適切なものを取捨選択することができる。 ・発表する時の姿勢や、話し方のルールを知り、模倣することができる。 ・手紙の書き方の決まりを知る。見本を見て、手紙を書くことができる。	・イラストや写真など視覚教材を活用する。 ・ロールプレイなど体験的な活動を取り入れる。
1 ― 3	・日常での場面ごとに使う道具を選択する ・書道 ・1年間のまとめ	○	・場面に合わせた道具 ・書道 ・1年間の授業のまとめ	・選択肢の中から適切に選ぶことができる。 ・文字の特徴を捉え、毛筆で表現する。 ・1年間で学習した文字や物語などの振り返りができる。	・イラストや写真など視覚教材を活用する。 ・これまで学習した教材や作品を提示する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

番号	5
----	---

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年
教科等名		国語		グループ名	3グループ
ねらい		・表現したり、理解したりするために必要な語句の量を増やす。 ・相手や目的を意識して書くことを決め、文章で表現することができる。 ・自分の思いや考えを、学習した言葉を使って伝えようとする態度を養う。			
担当教員		○松永 和也 廣野 あやめ 岸 みどり			
予定授業時数		70			
使用教科書		改訂新版 くらしに役立つ国語			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	・平仮名、カタカナ、漢字 ・図書室利用	○	・言葉あそび ・漢字の読み書き ・本の貸し借り	・頭文字をヒントに自分の知っている物の名前などを見つけることができる。 ・いろいろな漢字を読み書きし、知っている漢字を増やすことができる。 ・好きな本を選んで、貸し借りをする経験を積むことができる。	・見本を示す。 ・個別学習では、生徒の実態に合わせ、プリントやタブレット端末の漢字アプリ等を使用する。
4 7	・オリエンテーション ・自己紹介 ・文章を読んで、答えよう ・はがきや手紙の書き方	○	・学習内容について。 ・授業のルールについて ・自己紹介文の発表 ・簡単な文章の音読、内容の読み取り(生活の道具など) ・暑中お見舞いの作成	・1年間の授業内容を確認することができる。 ・自分のことを文章で表現することができる。 ・相手に伝わるように文章を考えて書くことができる。 ・送る相手を自分で考え、決めることができる。 ・目的に応じた文章の書き方を知ることができる。	・視覚的に理解できるよう絵カード等を使用する。 ・考えやすいよう見本や具体的な項目を提示する。 ・見本を提示し、内容を考えやすいようにする。
9 12	・作文 ・助詞を使って書こう ・はがきや手紙の書き方	○	・夏休みの思い出 ・助詞を使った文章 ・年賀状の作成	・自分の経験の中から伝えたいことを選び、内容をまとめることができる。 ・自分の文を読み、発表することができる。 ・助詞を使って文章を書こうとすることができる。 ・場面に合う説明文を書くことができる。 ・場面に合った話し方や声量を意識できる。 ・伝えたいことを文章で表現できる。 ・年賀状の書き方を知り、感謝の気持ちや挨拶を文章で表すことができる。	・個別に応じたワークシートの使用をする。 ・発表の様子を録画し、客観的に見る。 ・選択式など、個別のワークシートなどを用いて、文章を整理する。
1 3	・百人一首に親しもう ・文章を読んで、答えよう ・1年間のまとめ	○	・坊主めくり ・簡単な文章の音読、内容読み取り(昔話など) ・1年間の授業のまとめ	・ルールを理解し、坊主めくりができる。 ・環境問題について問題意識をもつことができる。 ・文章を読んで分かったことを伝える、感想をもつことができる。 ・1年間で学習した文字や文章などの振り返りができる。	・ルールが分かりやすい様に、視覚的に提示する。 ・タブレット端末で情報収集したり、個別に応じたワークシートを使用したりする。 ・これまで学習した教材や作品を提示し、振り返りをする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

番号	6
----	---

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	1年	
教科等名	国語		グループ名	4グループ	
ねらい	・漢字の読み書きを継続的に行い、正確に読み書きできる漢字を増やす。 ・自分の意見や気持ちを、言葉や文章に表す。 ・日常生活で使うことができる語彙を増やし、表現力を豊かにする。				
担当教員	○正司 一貴 中村 妙				
予定授業時数	70				
使用教科書	改訂新版 くらしに役立つ国語				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	・漢字		・漢字の書き取り、読み取り	・書ける漢字、読める漢字を増やすことができる。 ・字のバランスを意識して書くことができる。	・事前に練習した漢字の書き取りをする。 ・達成状況を考慮しながら少しずつ難易度を上げていく。
4 7	・オリエンテーション ・自己紹介 ・情報の整理 ・はがきや手紙の書き方	○ ○	・授業のルール ・自己紹介文 ・5W1H ・暑中見舞い状	・ファイルの使い方を知る。 ・一年間の見通しをもつ。 ・自分のことを文章で表現できる。 ・事実を伝える時に必要な情報をまとめることができる。 ・事実と自分の気持ちを伝えられる。 ・目的に応じた、正しい文章が書ける。	・単語や言葉の意味をタブレット端末で調べる。 ・授業のルールを明らかにし主体的な取り組みができるようにする。 ・発言や発表を肯定的に受け止め、達成感を味わい、自信に繋げる。
9 12	・夏休みの思い出作文 ・文章の読み取り ・自分が好きな本を紹介 ・学習発表会関連学習 ・はがきや手紙の書	○ ○	・作文・発表 ・短文の読み取り ・推薦図書紹介 ・学習発表会の関連学習 ・年賀状、寒中見舞い状	・自分が体験した事柄や、自分の気持ちを表現できる。 ・要点をメモしたり、まとめたりして文章にできる。 ・相手に伝わるように発言する、丁寧に字を書くことを意識することができる。 ・事実と自分の気持ちを伝えられる。 ・目的や状況に応じた書き方ができる。	・発表する様子を、タブレット端末で撮影し、振り返りをする。 ・互いに聞き取った内容を共有し、要点を学び合えるようにする。
1 3	・書初め ・文章読解(物語) ・敬語 ・一年間を振り返り	○	・毛筆 ・内容の読み取り ・尊敬語、謙譲語、丁寧語 ・作文・発表	・書道用具の正しい使用方法を知る。 ・正しい書き順で書ける。 ・物語の内容を読み取れる。 ・状況に応じた言葉遣いを理解する。 ・事実と自分の気持ちを伝えられる。 ・聞き手に聞きやすい発表ができる。	・場面設定を行い、適切な言葉遣いや敬語を学習する。 ・個々の習熟度や実態に応じたワークシートを準備する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。